

FREE

ご自由にお持ちください。

No.799
2020 April

4

岐阜県の森林・林業

も り

森林のたより



News of the forest



「森のしごとセミナー」を初開催！



●初開催にもかかわらず、多くの来場者にお越しいただき、ぎふの林業における担い手確保に繋がる取り組みとすることができました。
(詳しくは3ページ)



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場 所
			申込(問合せ)先/TEL
3月1日(日)~ 5月31日(日)	緑の募金(春期)	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに家庭募金、企業募金、職場募金などを行っています。 また、ご家庭で眠っている「お宝」を「お宝エイド」へ送っていただくと緑の募金として寄附され、森林づくりの支援が出来ます。ゆうパックの着払いで、品名に「岐阜県緑推宛「お宝エイド」」と記載して送ってください。(受付品目は、当委員会HPをご覧ください。)	お宝エイドの送り先: お買取り屋さん東京本店内 お宝エイド受付センター・東京 〒156-0041 東京都世田谷区大原 2-23-17-1F TEL:03-6265-7595 公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL:058-273-7577
4月21日(火)~ 4月27日(月)	パーマカルチャー デザインコース (PDC)2020 ※状況により開催しない 可能性があります。	「持続可能な暮らしのためのデザイン」として1970年代にオーストラリア・タスマニアで生まれたパーマカルチャーのデザインを実際のフィールドで取得する理論とデザイン実習の両方に力を入れた72時間のコースです。2回目は6月29日(月)~7月5日(日)に実施し、合計12泊14日のコースとなります。本コースを修了した参加者は、全世界共通のパーマカルチャーデザイン修了証を受け取り、パーマカルチャーデザイナーとして活動することができます。	森林総合教育センター「morinos」 (岐阜県美濃市曾代88番地) 森林総合教育センター「morinos」 TEL:0575-35-2535 (アカデミー事務局・代表番号) http://permaculturedesigncourse. mystrikingly.com/ 担当:萩原
4月28日(火)	ぎふ木遊館 開館記念式典	子どもから大人まで様々な方々が、だれでも、いつでも森や木に親しみ、森林とのつながりを体験できる総合的な木育拠点「ぎふ木遊館」の開館記念式典を行います。	ぎふ木遊館(岐阜市学園町2-33) ぎふ木遊館 TEL:058-215-1515
4月29日(水)~ 5月6日(水)	ぎふ木遊館 オープン記念イベント ※状況により開催しない 可能性があります。	ぎふ木遊館のオープンを記念し、様々な木育プログラムが体験できるイベントを開催します。 ●木育プログラム:一部有料 ●時間:10:00~17:00	ぎふ木遊館(岐阜市学園町2-33) ぎふ木遊館 TEL:058-215-1515



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け).....2

100年先の森林づくりシリーズ13.....3

「森のしごとセミナー」を開催しました!.....3

山の歳時記(76) 甘茶と灌仏会.....4

森林経営管理制度(市町村)で取組みが始まっています.....5

岐阜県地域森林監理士の認定について.....6

ぎふ木遊館の開館及びオープン記念イベントの開催について.....7

ぎふの木を使った家づくり支援制度のご案内.....8

令和元年度「岐阜県木造建築マイスター」岐阜県木造住宅アドバイザー「岐阜県木造住宅相談員の認定を行いました」.....9

山のおじさまむし(345) ー損な虫、ゴキブリー.....10

木の香るぎふの施設(85) 土岐市役所新庁舎.....11

わかまの森林・環境行政(40) 神戸町の環境のまちづくり.....12

令和2年度「清流の国ぎふ森林・環境税を活用した事業の全体計画」.....13

「ぎふ県政ほっとライン」の紹介.....13

令和元年度 岐阜県治山林道研究発表会.....14

森林と人を活かす知恵(87).....16

地域課題解決に向けた市町村連携.....16

研究コーナー ツリーシェルター使用の注意点.....17

普及コーナー 西濃地域における普及活動.....18

国有林の現場から(42).....20

国有林における多様な森林への誘導について.....20

野鳥のヒナを拾わないで!.....21

林業者向けお知らせ.....21

市況.....22



表紙●初開催にもかかわらず、多くの来場者にお越しいただき、ぎふの林業における担い手確保に繋がる取り組みとすることができました。

**100年先の
森林づくり
シリーズ13**

第3期岐阜県森林づくり基本計画(H29~H33)では、望ましい森林の姿へ配置転換する「100年先の森林づくり」、林業経営を重視した「生きた森林づくり」、環境保全を重視した「恵みの森林づくり」に取り組んでいます。これらの取組状況について、隔月連載でご紹介します。

◆地産地消型木質バイオマスエネルギー活用プロジェクト

木質バイオマス利用に向けた支援

地産地消型の木質バイオマスエネルギー活用による環境にやさしいまちづくりへの支援のため、公共施設等への木質資源ボイラーやストーブの導入を進めています。

令和元年度は、恵那市内において、農業施設へのボイラー（1台）整備や、小学校等へのストーブ（20台）の整備に支援をしました。

また、未利用材の利用を推進するために、美濃市内において県内の木材生産業者等(55名)を対象に研修会を開催しました。さらに、県内の森林（民有林）に放置されている未利用端材を燃料利用する場合に限り、森林内から燃料加工施設への積込運搬に係る経費（1,000円/ト）を支援し、未利用材の搬出を促進しています。



ペレットストーブ(下呂市)



未利用端材等搬出状況(郡上市)

**地産地消型木質
バイオマスエネルギー活用プロジェクト**

地産地消型木質バイオマスエネルギーの活用を進めるため、燃料の安定供給体制を構築するとともに、地域分散型の木質バイオマス利用施設を整備し、地域内で資源の循環利用ができる体制を整備するプロジェクトです。

【県産材流通課 兼定 孝生】 ●詳しい内容を知りたい方は [TEL058-272-8483](tel:058-272-8483) 県産材流通課まで

森のジョブステーションぎふ主催

「森のしごとセミナー」を開催しました！

1/12(日)「森のジョブステーションぎふ」単独主催として初の試みとなる「森のしごとセミナー ～森と働く、森林と暮らす～」を名古屋駅前のウインクあいちで開催しました。

セミナーでは林業を題材とした映画《WOOD JOB!～神去なあなあ日常～》のプロデューサーの深津智男さんによるウッジョブ誕生秘話・撮影秘話など、多岐に渡って貴重なお話を伺うことができました。

続く、森林技術者トークセッションでは、岐阜県内で活躍中の森林技術者の皆さんに登壇していただき、林業の世界に入った経緯、林業の魅力、現場の生々しい話に加え、林業に興味がある方に向けてのアドバイスなどをお話しいただきました。

そして、県内各地から出展いただいた林業事業者、市町村、農業、移住、森林文化アカデミー等の関係者相談ブースにも、終始、熱心に相談をされる来場者の方々が数多く見受けられました。

その他、ぎふの木を感じていただけるブースやワークショップなどもあり、おかげさまで多数の方々にご来場いただき、盛況のうちに幕を閉じることができました。

関係者の皆様におかれましては、ご協力いただき誠にありがとうございました。

今後も、岐阜県の林業における担い手の確保に繋げていくため、こうした様々な機会を設けていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお祈りいたします。



セミナーの様子



森林技術者トークセッション



林業就業相談ブース



郡上木履ワークショップ



飛騨五木ワークショップ



林業女子会@岐阜ブース



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

4月8日、美濃市の清泰寺で「灌仏会（かんぶつえ）」が執り行われていました。灌仏会とは花祭りとも呼ばれ、お釈迦様の誕生を祝う仏教行事です。

花御堂（はなみどう）と呼ばれる様々な花で飾った小さな堂の中央に水盤を置き、その真ん中にお釈迦様の誕生像を安置します。そして水盤を甘茶（あまちゃ）で満たし、参拝者が真ん中の誕生像に柄杓で甘茶を3回灌水して祝うも

のです。

これはインドのルンビニー園でお釈迦様が誕生された時、歡喜した竜が天から清浄な香油を注いでお釈迦様の産湯としたとか、甘露の雨を降らせて産湯にした、との伝説に基づいています。

仏教が中国に伝わってから、大乘仏教徒が毎年旧暦の4月8日をお釈迦様の誕生された日として、立像を灌浴させて祝う儀式をするようになったとされます。

日本では606年（推古十四年）に元興寺で行われたことが『日本書紀（720年）』に記されており、宮中では840年（承和七年）から灌仏会が恒例の行事となりました。古来、灌水には五種類の香水を用いていましたが、江戸時代から甘茶を用いるようになりました。甘茶は駆虫の薬効があるとして、煎液を墨にすり混ぜ「千早振る卵月八日は吉日よ神さけ虫を成敗ぞする」と記し、柱に貼り付けて虫封じとする習慣があります。

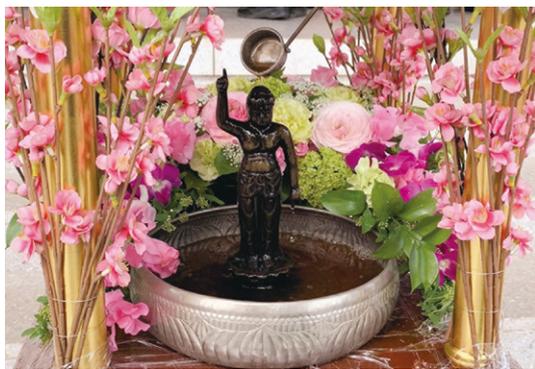
ちなみに、花祭りと呼ぶようになったのも大正時代からで、主に浄土宗や浄土真宗のお寺に多いそうです。

植物のアマチャ (*Hydrangea serrata var. thunbergii*) は日本各地に自生するヤマアジサイの変種で、簡単に言えばヤマアジサイの甘みの強いタイプとも言えます。甘茶は8月頃に葉を摘み取って乾燥させ、水を噴霧してムシロなどをかぶせて蒸らし、一昼夜放置して発酵させた後、手揉みしながら乾燥貯蔵します。

生の葉には甘味はありませんが、発酵により配糖体から遊離したフィロブリンが含まれ、ショ糖の600〜1000倍の甘味を呈します。この葉を煎じた甘茶は黄色で、渋味のタンニン物質は含みませんが、苦み成分である茶素 (Tein) は含んでいます。最近ではアマチャの葉が抗マラリア活性成分や頭髮の毛芽活性成分を含むことも分かっています。注目を集めてい

ます。

ところで、製品として役に立たなくなることを、「お釈迦になる」「お釈迦にする」と言いますが、これは鋳物職人の隠語から出た言葉です。阿弥陀像を鋳るはずだったのに、誤って釈迦像を鋳ってしまったことに由来し、江戸の訛りで「ひと」「し」の発音が同じになるため、「火が強かった（しがつよかった）」と炙り過ぎて鈍った金物になった言い訳を、お釈迦様の誕生日「4月8日（しがつようか）」を掛けた洒落とされます。



▲甘茶で満たされた水盤の中央にお釈迦様の誕生像がある

森林経営管理制度

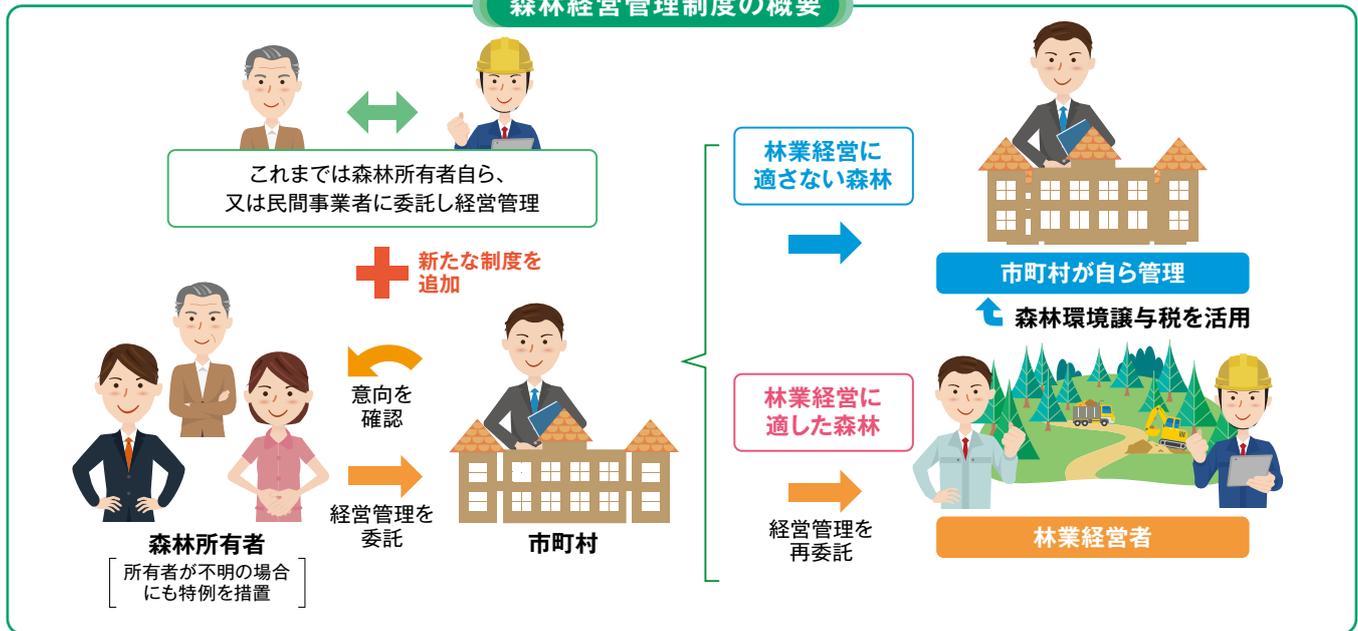
～ 市町村で取組みが始まっています ～

平成31年4月に「森林経営管理法」が施行され、森林経営管理制度が始まりました。

この法律では、森林所有者に適切な経営管理を行わなければならない責務があることを明確化しています。

その上で、手入れの行き届いていない森林については、市町村が経営管理の意向を確認し、森林所有者自ら経営管理を行う意向がない場合は、市町村が経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林は地域の林業経営者に再委託するとともに、林業に適さない森林の経営は市町村が公的に管理することができる制度で、これらの取組みを進めることにより、地域の林業の活性化や森林の適切な管理の両立を図ろうとするものです。

森林経営管理制度の概要



制度開始から1年が経過し、森林所有者へ経営管理の意向調査を始める市町村が増えつつある中、県内で初めて、この制度を活用して森林整備まで取り組まれた「恵那市」の事例を紹介します。

恵那市では、恵那市森林整備検討委員会で決定した優先条件（過去10年以上間伐を実施していない、山地災害の危険が高い地区等）により対象森林を絞り込み、まずはモデル地区で森林整備まで取り組んだ後、その周辺、そして優先度の高い森林へと進めていく計画を定めています。

モデル地区（3地区）では、昨年夏頃から地区毎に説明会を開催し、森林所有者に対し、意向調査が行われました。その結果「市へ管理を委託」と回答のあった約50haの森林について、経営管理の内容や期間等を定める「経営管理権集積計画」の作成を進め、森林所有者から同意を得た地区から計画を公告（令和2年2月）した上で、森林環境譲与税を活用して、市が間伐を実施しています。

引き続き、モデル地区周辺でも取組みを進められ、森林整備を中心に事業を実施される予定です。

多くの市町村では、地域の実情を踏まえながら、手入れの行き届いていない森林の抽出や、森林所有者に経営管理意向調査を実施するための準備が進められており、県においても、当制度の活用により森林整備が着実に進むよう、市町村の支援に取り組んでいるところです。

森林所有者並びに林業関係者の皆様には、当制度の趣旨や運用等に理解を深めていただき、地域の森林整備に向けて、ご協力いただきますようお願いいたします。

【林政課 川畑 佳代子】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3023)林政課森林企画係まで

岐阜県地域森林監理士の認定について

岐阜県では現在、「第3期岐阜県森林づくり基本計画」に基づき、地域が主体となった100年先を見据えた森林づくりに取り組んでいます。

この取り組みを推進するためには市町村の果たす役割が大変重要ですが、森林に関する知識や技術を有する専門職員が配置された市町村は多くありません。

そのため県では、地域における森林の管理及び経営に必要な専門的知識を有し、市町村林務行政への支援や民有林経営への助言等を行う「岐阜県地域森林監理士」の養成・認定を行っています。

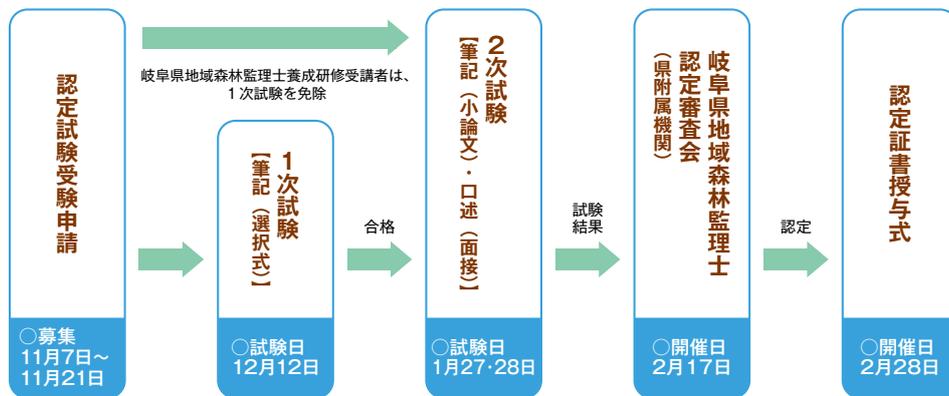


図-1 岐阜県地域森林監理士の認定等に係るスケジュール（令和元年度実績）

令和元年度は7人が認定され、令和2年2月28日に荻巣林政部長から認定証書が授与されました。

岐阜県地域森林監理士の認定は平成29年度から開始しており、平成30年度までの11人と合わせて認定者は合計18人となりました。県のホームページで、岐阜県地域森林監理士の名簿を公開していますので、関心がある方や支援を受けたい方はぜひご覧ください。

新たに岐阜県地域森林監理士に認定された方々のご活躍を期待しています。



※授与式出席者による集合写真

表-1 令和元年度岐阜県地域森林監理士認定一覧

認定番号	氏名	所属
第R01-01号	なかむら さだひろ 中村 禎宏	中濃森林組合
第R01-02号	かねやま ももき 兼山 百樹	郡上森林組合
第R01-03号	くさかべ やすゆき 日下部康行	南ひだ森林組合
第R01-04号	いなば しんや 稲葉 晋也	大山土木（株）
第R01-05号	たなか まさなり 田中 政成	田中林業
第R01-06号	さとう だいすけ 佐藤 大輔	佐藤林業
第R01-07号	たぐち こうき 田口 幸生	東白川村役場

【林政課 100年の森づくり推進室 稲葉 友哉】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3027)まで

ぎふ木遊館の開館及び オープン記念イベントの開催 (4/29 ~ 5/6) について



ぎふ木遊館正面イメージ

子どもから大人まで様々な方々が、だれでも、いつでも、森や木に親しみ、森林とのつながりを体験できる総合的な拠点「ぎふ木遊館」の一般利用が、令和2年4月29日（水・祝）から始まります。

館内には、大型木製遊具や100種類以上の木のおもちゃをそろえた「木育ひろば」、ハイハイの赤ちゃんと保護者がゆったり遊べる「赤ちゃんひろば」、木のおもちゃ作りから本格的な木工まで様々な木育プログラムが体験できる「木工室」のほか、県の誇る「木と共生する文化」を展示・紹介するギャラリーなどがあります。

また、館内には、森や木に親しんだり、木のおもちゃの遊びの専門的知識を持つスタッフ（ぎふ木育指導員等）が常駐し、木とのふれあいや遊び工夫などをさりげなく、やさしくお伝えします。

4月29日（水・祝）から5月6日（水・振休）の間は、オープン記念イベントとして、様々な催しを計画しています。お子さんやお孫さんとご一緒に来館いただきますよう心からお待ち申し上げます。



木育ひろばイメージ



赤ちゃんひろばイメージ



木工室&ギャラリーイメージ

施設利用概要

- 開館時間** 午前10時から午後5時（入館時間 午後4時30分まで）
- 休館日** 毎週水曜日（水曜日が祝日の場合はその翌日）、年末年始等
- 入館料金** 大人 300円（平日年間パスポート1,000円）
高校生以下 無料 団体 200円（20名以上）
- 入館条件** 小学生以下のお子さんは保護者同伴でお願いします。
- 駐車場** 有（3時間までは100円、それ以降は30分毎に100円）
- 連絡先** TEL(代)058-215-1515 FAX 058-231-2755
E-mail:c25111@pref.gifu.lg.jp URL:https://mokuyukan.pref.gifu.lg.jp

ぎふ木遊館位置図



令和元年度

「岐阜県木造建築マイスター」
 「岐阜県木造住宅アドバイザー」
 「岐阜県木造住宅相談員」の認定を行いました。



県では、県産材を使用した住宅の提案や相談等に対応できる人材を養成するため、建築士を対象とした「木造住宅アドバイザー養成講座」、工務店の営業担当者等を対象とした「木造住宅相談員養成講座」また、非住宅分野の木造建築物の設計等に対応できる建築士を育成するため、「木造建築マイスター養成講座」を行っています。

令和元年度受講生のうち、新たに2名を「木造建築マイスター」、7名を「木造住宅アドバイザー」、11名を「木造住宅相談員」に認定しました。

令和2年度も各種養成講座を実施する予定ですので、詳しくは県産材流通課のHPをご確認ください。



▲令和元年度の養成講座の様子



●認定状況

	R1 認定者	累計 認定者数	(認定開始)
木造建築マイスター	2名	17名	(H29)
木造住宅アドバイザー	7名	305名	(H18)
木造住宅相談員	11名	184名	(H24)

●令和元年度新規認定者一覧

「岐阜県木造建築マイスター」認定者一覧

認定番号	氏名	所在地	勤務先
0101	福永 真紀	西濃	(株)福永建築事務所
0102	長田 芳幸	岐阜	長田芳幸建築設計事務所

「岐阜県木造住宅アドバイザー」認定者一覧

認定番号	氏名	所在地	勤務先
0101	山本 康人	揖斐	山本産業(株)
0102	洞ノ口 邦明	可茂	丸八住宅(株)
0103	松山 美穂	恵那	NPO法人いむらでんでんけん
0104	宮永 真奈美	恵那	NPO法人いむらでんでんけん
0105	平岡 由紀代	可茂	(株)新和建设
0106	柘植 幸代	可茂	(株)新和建设
0107	福井 健人	飛騨	(株)新和建设

「岐阜県木造住宅相談員」認定者一覧			
認定番号	氏名	所在地	勤務先
0101	井上 涼太	飛騨	(株)井上工務店
0102	伊藤 嘉規	恵那	(株)伊藤木材店
0103	片桐 朋香	東濃	(株)新和建设
0104	竹島 友紀	愛知	(株)新和建设
0105	吉田 美春	愛知	(株)新和建设
0106	倉田 彩乃	愛知	(株)新和建设
0107	岩井 洋一	可茂	(株)新和建设
0108	倉知 和也	岐阜	(株)新和建设
0109	河島 俊史	可茂	(株)大幸住宅 可児工房
0110	高田 良三	可茂	(株)大幸住宅 可児工房
0111	山口 大輔	可茂	(株)大幸住宅 可児工房





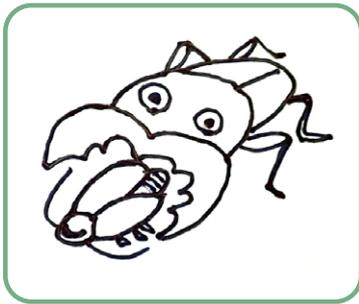
山のおじまむし



一損な虫、ゴキブリ 【第345回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

今年の初夢は恐ろしい夢だった。閻魔様に魔法をかけられ得体のしれない虫にされたのである。どんな姿なのかはわからないが、皆からは「気味が悪い」「汚い」などと言われ、とにかく嫌われ虫だった。よくいじめられた。物音がしたら、とにかく逃げる。こんな毎日であった。そのうちに人の寝静まった夜に活動するようになった。餌はたくさんあるので体は大きくなり、たくましい虫になった。こうなると怖いもの知らず。あちこちで悪いことをし始めた。これを見かねた閻魔様が、鋭い牙のある鬼のような顔をした大きな虫を差し向けてきた。そして、「お前を食べる」と言って、大きな口をあげ丸呑みにし始めた。「もう駄目だ」と悲鳴をあげた時、目が覚めた。夢だった。「よかった」と安堵した。夢とは言え、正月早々嫌われ虫にされた私。思わず笑えてきた。しばらくして、この嫌われ虫は何虫だったのだろうかと思ってきた。すぐにゴキブリだと思った。ほとんどの人が「ゴキブリは嫌い」という人が多いし、夜活動するからである。しかし、なぜ嫌われるのだろうかと思った。私は好きでも嫌いでもない、普通の虫だと思っているからである。



× × × ×

数年前、近所の主婦数人と話をしている時「どうしてゴキブリという名前になったの」と聞かれた。次のように答えた。昔は、ゴキブリがお椀に頭を突っ込み残飯にかぶりついていたので「ゴキカブリ（御器かぶり）」と呼ばれていた。それが、いつの間にか「カ」が抜けてゴキブリになってしまったのである。ついでにゴキブリの体や糞の中から病原菌やウイルスが検出されているので、不潔昆虫でもあると話した。すると「やっぱり悪い虫だわ」「大嫌い」「見ただけで寒気がする」などゴキブリの悪口ばかり。それは一部のゴキブリだけで心配ないと言い直したが、聞く耳なし。そのゴキブリは手足、羽、触覚のあるごく普通の虫。それなのに嫌われる。損な虫だと思う。日本に生息しているゴキブリで、家屋に多いのがクロゴキブリである。我が家にもたくさんいる。昨年の夏、台所の隅にゴキブリホイホイを仕掛けていたら、1cmほどの細長いカプセルのようなものが4個付着していた。卵鞘（らんしょう）だった。この中に卵があるので、何個あるか数えてみた。どれも20卵以上あった。この卵鞘は他の場所にも多数あるであろう。となるとものすごい数。退治などできる

はずがないと思いつつ何か所かに設置した。やはり、ゴキブリが減ったという気はしなかった。孵化した幼虫は数ミリと小さいが、これが2年後には4センチにもなる。これが家の中を走り回り、目につくから嫌われ虫。そんな気がした。

× × × ×

次に多いのが飲食店で多く見られるチャバネゴキブリである。時々、料理の中やラーメンにゴキブリが入っていたということを目にするが、ほとんどがこのゴキブリである。大きさは1cmと小さいが、産卵数は200個以上。これが2ヶ月で親になり、また卵を産む。しかも、年に何回も繰り返すので、あっという間に増えてしまうのである。このゴキブリはともに外国から侵入してきた外来種である。それが何故日本の家屋に住み着くことができたのだろうか。それは食性である。魚、肉、野菜、パンなど何でも食べ、時には糊でとしてある書籍まで齧ることがある。さらに餌がないときは共食いをして強いものが生き残る。ゴキブリは生命力の強い虫なのである。私自身、このゴキブリに痛い目にあったことがある。大珍品のカミキリムシをクロゴキブリに食べられバラバラにされたのである。思い出すと、今でも腹が立つ。

× × × ×

こんなこともあった。見るからに上品な御婦人と話をしていた時である。足元に大きなゴキブリが出てきた。それを見た御婦人は足で何回も踏みつぶした。それもすごい形相で。恐らく頭に血が上り、本来の自分に戻ったのだろうと笑えてきた。また、ゴキブリを嫌々食べた人もいる。知人の某氏である。ベトナムへ仕事で出かけていた時、田舎でゴキブリ料理を食べたという。初めは不味かったが、そのうちに慣れてしまい普通に食べられるようになったと話してくれた。これを私は、ゲテモノを食べるのが趣味という人に話したところ、すぐにフライパンで焼いて食べた。その人は「美味しかったよ。君も食べてみたら」と言われた。しかし、私は食べなかった。その人の表情から、不味かったので不快な思いを私にもさせようとした…そんな気がしたからである。こんな笑い話の多いゴキブリであるが、私は地球上で一番生命力の強い生き物だと思っている。それは3億年前に地球上に現れ、姿を変えずに今日まで生き続けているからである。人間はわずか500万年で猿から今の姿になっていることから、今後どうなるかわからない。絶滅するかもしれない。そんなことを想像していると、地球で最後まで生き残るのはゴキブリだと思ってしまう。こんな「すごい虫」なのに、誰もが嫌がる「嫌われ虫」。やはりゴキブリは損な虫だと思う。





土岐市役所新庁舎

土岐市土岐津町土岐口2101



施設全景

施設概要

事業年度	平成29年度～令和元年度
事業主体	土岐市
構造・延床面積	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 9,704㎡（内装木質化対象面積1,033㎡）
施設用途	市庁舎
木材使用量 使用樹種	25.55㎡（内装木質化部分） 主な樹種：スギ、ヒノキ
全体事業費	51億円（設計、監理委託、工事費、備品購入費等含む）
助成額	8,400千円（県産材需要拡大施設等整備事業）
設計者	（株）東畑建築事務所
施工業者	（建築工事） 岐建・館林 特定建設工事共同企業体 （電気設備工事） 大島・奥村 特定建設工事共同企業体 （機械設備工事） シブヤ・美濃冷暖 特定建設工事共同企業体
工期	平成29年9月～令和2年1月

施設の経緯

旧庁舎は、昭和41年11月に竣工し、多くの市民に親しまれてきました。これまで増改築や大規模な改修工事を行わず竣工から約50年が経過し、庁舎の耐震性や設備の老朽化、執務スペースの手狭さ等の問題が生じたことから、新庁舎の建設に至りました。

新庁舎は、景観に馴染み、山並みを遮らない形態とし、葺屋根とすることで土岐市の文化を表現しています。また、長く日常生活の一部として浸透するような庁舎となるよう計画し、令和2年1月に新庁舎がグランドオープンしました。



窓口・執務ゾーン



市民ゾーン

ここに注目!!

来庁者の目に触れる場所に木材を使い、訪れた際には、木のぬくもりの良さを体感していただくことができます。

利用者の様子

木の温かみを感じることができ、リラックスできるとの声をいただいています。



議場

■問い合わせ先

土岐市役所 管財課

TEL 0572-54-1111 (内247)

神戸町の環境のまちづくり

神戸町の環境施策を紹介します。



神戸町の概要

神戸町は、岐阜県の濃尾平野の北西部に位置しており、南北7・2km、東西4・1kmと、南北に三角形をした肥沃な平坦地にあります。総面積は、18・78km²の町で、西に伊吹山系、北に白山山系を望み、東に揖斐川の清流、南に濃尾平野が広がり、良質な地下水に恵まれています。

ここでは、神戸町での環境施策についてご紹介します。

木育教室

神戸町では、平成23年度よりぎふ木育推進員の方をお招きし、神戸町子育て支援センターにおいて、未就学児とその保護者を対象に木育教室を開催しています。

木育教室は、親子で岐阜県の木を利用したものづくりを通して、木や森に親しみ、自然を大切にする感性や心を育むことを目的としています。

令和元年度は、栗の木を使用したカスタネットづくりを行いました。木を削ってカスタネットを成形し、クルミの実を潰してカスタネットをコーティングしま

した。カスタネットは栗とクルミの香りがする、使っても楽しいものに仕上がりました。さらに、どんぐりの木にまつわる絵本の読み聞かせ、食べられるどんぐりを炒って味見をするなど、普段とは違ったかたちで木を身近に感じる体験を行いました。



木育教室の様子



木育教室での作品（カスタネット）

今後多くの方に、木や森を身近に感じていただけるよう木育教室を推進していきますので、興味のある方は、ぜひご参加ください！

また、平成30年度から子育て支援センター内に「ぎふ木育ひろば」を常設しています。岐阜県産材で作られたおもちゃを通して、楽しい時間を過ごしてください。



木育ひろば



資源回収への取り組み

神戸町には、リサイクルの拠点施設「エコプラザごうど」があります。

この施設は、町民の皆さんの資源回収の機会を増やすことにより、リサイクル活動を推進することを目的としていま

す。

施設の運営は、3つのボランティア団体で組織される「エコネットごうど」がボランティアで行っています。

ごみの減量化及び町民のリサイクル意識の向上を目指し、次のようなイベントなどを開催しています。

- ・牛乳パック40枚とトイレットペーパー1個を交換
- ・衣料リサイクルコーナーの開設
- ・学校給食から出る生ごみ等を堆肥化した肥料の無料配布
- ・エコプラザ祭り(焼き芋、豚汁の無料配布)

今後も、町民の皆さんに今まで以上にエコプラザごうどを利用していただくことにより、循環型社会の形成に、より貢献できるよう取り組んでいきます！



豚汁の無料配布



神戸町では、木育やリサイクル活動などの活動によって、森林や環境に配慮した地域づくりを今後も進めていきます。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0584-2710178

神戸町役場産業環境課まで

令和2年度『清流の国ぎふ森林・環境税』を 活用した事業の全体計画

令和2年度の『清流の国ぎふ森林・環境税』を活用する事業についてお知らせします。

事業名	事業の概要	計画量	予算額 (千円)
① 100年先の森林づくりの推進			
環境保全林整備事業	水源林、溪畔林、奥山林等における間伐等の支援	2,600ha	280,000
水源林公有林化支援・推進事業	森林の公有林化の支援等	20ha	20,000
里山林整備事業	集落・農地等周辺の里山林整備の支援	650ha	200,000
森林地域外危険木除去事業	森林地域外にある危険木除去の支援	10箇所	
観光景観林整備事業	観光道路周辺の観光景観林整備の支援	70ha	50,000
② 自然生態系の保全と再生			
野生鳥獣保護管理推進事業 (ニホンジカ、イノシシの捕獲推進)	ニホンジカ及びイノシシの個体群管理を目的とした捕獲に係る支援等	7,500頭(シカ) 200頭(イノシシ)	127,000
野生鳥獣保護管理推進事業 (カワウ等対策)	カワウ又はカワアイサの被害対策活動に対する支援	700羽(カワウ)	24,000
野生鳥獣保護管理推進事業 (市町村職員の育成)	市町村職員が有害鳥獣捕獲に従事するための銃所持などに係る支援	6人	3,000
野生動物総合対策普及推進事業	野生動物管理体制及び被害対策の課題と解決策に関する調査研究等の実施と鳥獣被害対策に係る人材の育成	500人(啓発事業の参加者数)	21,000
流域協働による効率的な河川清掃事業	上下流域が連携した河川清掃活動の実施	68河川	30,000
生きものにぎわうため池再生事業	ため池に生息する外来種の駆除の実施	3箇所	2,500
水田魚道設置推進事業	水田魚道の設置推進	1地区	3,000
生態系保全団体支援事業	里地里川の生態系を復活させるモデル的取組みへの支援	5団体	10,500
生態系保全市町村支援事業	里地里川の生態系保全活動の実施への支援	6市町村	9,000
河川魚道の機能回復事業	県管理河川及び砂防施設に設置された魚道の適切な維持管理の実施	672箇所(点検) 80%(健全魚道割合)	50,000
	県管理河川のうち農業用取水堰に設置された魚道の点検・修理	2箇所(設計) 2箇所(工事)	40,739
用排水路・河川落差解消支援事業	農業用排水路や普通河川との落差解消	2地区	10,000
③ ぎふの豊かな森林・水を活かした環境にやさしい社会づくり			
木質バイオマス利用施設導入促進事業	公共施設等における木質バイオマス利用施設の導入の支援	20基(ストーブ) 1施設(ボイラー)	35,000
小水力発電による環境保全推進事業	簡易な小水力発電施設の設置	3施設	5,300
④ 人づくり・仕組みづくり			
木の香る快適な公共施設等整備事業	教育福祉関連施設等の木造化、内装木質化、重要文化財修復の支援	9施設	107,500
ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業	学校等の机・椅子等の導入の支援	1,200個	14,500
県民協働による未利用材の搬出促進事業	市町村と地域住民との協働による未利用材の搬出の支援	4,200t	7,700
ぎふ木育拠点整備等事業	「ぎふ木遊館」の運営	1施設	75,869
ぎふの木育教材導入支援事業	ぎふの木を使った教材(おもちゃ、キット等)の導入の支援	60施設	4,000
森と木と水の環境教育推進事業	子ども達を対象とした森や木、川に関する環境教育の実施	1,000人	19,844
清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業	森林・環境税の広報活動、事業評価審議会の開催	一式	6,000
上流域と下流域の交流事業	上流域、下流域の自然環境を相互に理解する交流ツアーの実施	15回	8,000
生物多様性に配慮した地域づくり普及推進事業	生物多様性の保全等に資するシンポジウムの開催及びイタセンバラを活用した普及啓発	6回	1,500
①～④共通 地域のニーズに基づいた環境保全活動の促進			
清流の国ぎふ地域活動支援事業	各種団体等が行う森づくり・川づくり活動等に対する支援	40件	23,000
清流の国ぎふ市町村提案事業	市町村が提案する事業に対する支援	20件	114,000
		合計	1,302,952

※本事業は森林環境譲与税の用途とすみわけを行っています。

【恵みの森づくり推進課 長谷川 彩】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8472 まで



毎週木曜日にぎふちゃん(8ch)で放送中の「ぎふ県政ほっとライン」。
県政の話題をわかりやすく紹介する番組です。この「県政ほっとライン」で令和2年度は毎月1回、木育や林業に関する県の取組みを紹介します。1回目の放送は、県産材を使用した「木のおもちゃ」を取り上げます。ぜひご覧ください！

●放送日 4月16日(木) 18:53～18:57(再放送4月21日(火) 21:54～21:58)

問/岐阜県庁広報課 058-272-1116

治山林道研究発表会

林道研究発表課題

【最優秀賞】

課 題	所 属	発 表 者
林道法面における獣害対策について	揖斐農林事務所	根崎 浩和
林道法面における食害や踏み荒らしにより植生の生育が阻害されていることから、林道揖北線で実施した3種類の獣害対策工について、各工法における効果と施工コストに関する考察を発表した。		

【優秀賞】

課 題	所 属	発 表 者
林道白尾～鷲見線における法面保護工法の考察	郡上農林事務所	神原 昭真
林道白尾～鷲見線では、平成初期にモルタル吹付等を施工した法面での崩壊が発生していることから、崩壊の原因を調査し、長期的に維持可能な法面設計について検討した結果を発表した。		

【優秀賞】

課 題	所 属	発 表 者
尾城山林道における維持管理の軽減に配慮した取組について	恵那農林事務所	宮腰 博幸 安江 博之
林道尾城山線ではこれまでに施工した区間において、舗装工の木製アスカープの破損が確認されたことから、木製アスカープ以外に現場条件に適した工法がないか検討した結果を発表した。		

写真コンクール

治山、林道事業の効果を県民により深く理解してもらうと同時に、治山施設・森林整備等の重要性をPRするため、写真コンクールを実施しました。治山部門47件、林道部門21件の応募の中から最優秀賞を表彰しました。

【治山部門最優秀賞】

H30豪雨災害箇所の現況



場所
下呂市萩原町上呂字門洞地内

撮影者
下呂農林事務所 榎田 俊治



【林道部門最優秀賞】

これぞ広域基幹林道(支線編)



場所
下呂市大字東上田地内

撮影者
下呂農林事務所 倉 浩二



※研究課題の詳細については今後「森林のたより」にて掲載していく予定です。

令和2年2月14日、関市わかさプラザ多目的ホールにおいて、令和元年度岐阜県治山林道研究発表会を開催しました。当日は約140名が参加し、治山部門で4題、林道部門で3題の発表があり、いずれも今後の森林土木技術の向上が期待される充実した内容でした。

本会は、治山研究会員、林道研究会員が、治山、林道事業の業務に携わる中で直面する課題について、調査、研究した成果を発表するもので、治山研究会と林道研究会の合同となりました開催としては今年度で21回目、個別では治山研究発表会が55回目、林道研究発表会が48回目となりました。

また、発表終了後には、森林研究所の臼田専門研究員から「平成30年7月豪雨により岐阜県で発生した山地災害の特徴」と題した特別講演がありました。

本会の最後には、審査委員長である国立大学法人岐阜大学名誉教授の木村正信氏から、改善点を含めた研究発表内容に対する講評の後、治山、林道両部門の最優秀賞及び優秀賞の表彰がありました。

治山研究発表課題

【最優秀賞】

課 題	所 属	発 表 者
門洞地区における災害復旧事業の課題と対応について	下呂農林事務所	鍋倉 賢二
平成30年6月の梅雨前線豪雨により下呂市萩原町内で発生した土石流災害に対し、下呂農林事務所が土木事務所、下呂市、JR等と行った連絡調整や復旧方針の検討について、展開と課題を検証した。		

【優秀賞】

課 題	所 属	発 表 者
治山事業PRについて	揖斐農林事務所	堀部 一希 清水 勝樹
治山工事は砂防工事と間違われることが多く、治山のことはまだまだ認知されていないことから、治山事業実施に必要な地域住民の協力や理解を得るため、治山事業のPR活動を行った事例を報告した。		

【優秀賞】

課 題	所 属	発 表 者
大規模崩壊地の復旧に向けて	中濃農林事務所	小山 凌平 松原 智
平成30年7月豪雨により、関市板取滝波地区において大規模な溪流荒廃及び山腹崩壊が発生し、その復旧に向けて国、県、市が協議を行い、民有林直轄治山事業にて対応することとなった事例を報告した。		

【優秀賞】

課 題	所 属	発 表 者
中津川市 茄子川地区における防災対策向上への取り組み	恵那農林事務所	福井 雄希
事前防災・減災対策におけるソフト対策強化という課題に対し、中津川市茄子川地区で実施している森林整備や治山事業状況と、地域振興財団と行政とが共同で実施した活動について、成果等を報告した。		



会場の様子



治山部門表彰



林道部門表彰

地域課題解決に向けた市町村連携

(Win・Winの関係構築)

岐阜県立森林文化アカデミー ● 長沼 隆

様々な活動の講師や相談対応などの支援、さらには教員の専門分野に関連する受託事業として各市町村の抱える特定課題の解決策の実施に取り組んでいます。

こうした中、新たに本年3月には、林地である白川町と新たな森林管理時代における森林利活用(森林サービス産業)の実現を目指し、森林境界明確化や古民家再生に取り組む包括的協定を締結しました。また、4月には「広葉樹のまちづくり」を掲げる飛騨市と協定を締結し、広葉樹を活用する人材育成やドイツ・ロッテンブルグ林業大学とも連携する広葉樹施業(将来木施業)の共同研究などに取り組んでいきます。

また2020年度からスタートした森林環境譲与税を活用して、アカデミーに入学する学生への奨学金制度を創設する市町村が増えつつあります。過疎化と少子高齢化による人口減少対策に悩む市町村が、森林技術者等の育成・確保と併せて移住定住対策にもつながるよう、卒業後に市町村管内へ就業することを条件に授業料等を助成するものです。

アカデミーの入口(学生確保)・出口(県内就職)対策にもつながることから市町村・アカデミー双方にメリットのある施策として期待されます。今後も関係者と密接に連携を図りながら地域の課題に対応し市町村と森林文化アカデミーによるWin・Winの関係を築いていきます。

森林文化アカデミーでは、地域課題の解決に向け市町村との連携を進めています。2020年2月現在、県内4市町(美濃市、揖斐川町、美濃加茂市、中津川市)、県外1市(豊田市)の計5市町と連携協定を締結しています。今回は連携協定の特徴と今後の展開について紹介します。

市町村連携の特徴

【美濃市】

2012年3月締結、3年毎更新。森林文化アカデミーの地元である美濃市が目指す「オンリーワンのまちづくりの推進」に向け、これまで道の駅「わか茶屋」建設、「ウッドスタート事業」木のおもちゃ製品開発、子ども創造館・公民館活動、廃校を活用した木工房拠点づくりの支援のほか、美濃市の森林管理委員会委員長にアカデミー教員が就任するなどの連携を行っています。

【揖斐川町】

2016年3月締結、2年毎更新。

2015年10月に開催した「第39回全国育樹祭会場跡地の活用」をはじめ多様な分野での包括連携として、育樹祭会場の御席解体材の活用検討や「いび森のようちえん・こだぬき」(2018年設立)、徳山ダム上流の森林調査、個業(スモールビジネス)の取組支援を行っています。

【美濃加茂市】

2016年8月締結、協議の上2年限定で延長。美濃加茂市が「里山千年構想」で目指す里山風景を後世に残すため、里山の再生・活用の様々な連携協力を行っています。その一つとして、地域に生育するアベマキを活用した取組「アベマキ学校机プロジェクト」はウッドデザイン賞2015の優秀賞(林野庁長官賞)やキッズデザイン賞2018を受賞しています。

【豊田市・豊田森林組合】

2018年3月締結。広域合併により矢作川上流部の広大な森林を抱えること

となった豊田市の森林・林業の担い手を育成するため、2018〜2019年度の2カ年かけて豊田森林組合の森林技術者6名の育成研修を受託しました。また、豊田市森林課の職員がクリエーター科に入学し、林業専攻で地域林政のリーダーとなるべく本学の現地現物主義の勉学に励んでいます。

【中津川市】

2019年4月締結。東濃松の産地として古くからの林業・森林文化が息づく中津川市において、リニア新幹線開通を見据え複眼的視点で森林からの恵みを享受できる社会の実現を目指し、リニア駅周辺整備の木材活用研究、古民家改修プログラムの実施や地域の森林文化を伝承する森林学習などの取組支援を行っています。

市町村連携の今後の展開

これまで連携協定に基づき、森林文化アカデミー教員等が各市町村へ出向き



ツリーシェルター使用の注意点

森林研究所 ● 大洞 智宏

はじめに

ニホンジカの増加により、植栽を行う場合には獣害を防止する手立てが必要になってきました。特に、生息密度が高い地域では、柵やツリーシェルターによる物理的な防除が必要です。一般的に柵の設置によって獣害は防げますが、雪や台風による倒木などで柵が破損した場合、シカに侵入され多くの植栽木が獣害に遭う場合があります。このため、最近ではツリーシェルターのような単木保護資材を選択し面的に獣害を受けるリスクを回避しようという傾向があるようです。

ツリーシェルターの種類

現在、数種類のツリーシェルターが利用されています。例えばナイロンなどで織られた生地を筒状に加工し支柱で固定するもの（布タイプ）や、ポリプロピレンなどで作られた筒状の保護具を支柱で固定するもの（チューブタイプ）、数センチの目あいで成形され

た網状のシートを筒状に設置する（網タイプ）ものなどがあります。複数のメーカーから発売されており、積雪の状況、施工性やコストなどから選択する必要があります。



ツリーシェルター：布タイプ(左)、チューブタイプ(中)、網タイプ(右)

設置したらもう安心？

ツリーシェルターは正しく設置すれ

ば、その後獣害に遭う危険性は比較的低いと考えられます。しかし、設置した場所によっては、雪や台風によって支柱の折損やシェルターの亡失が発生する場合があります。特に大きな台風の後には現地の状況確認をお勧めします。また、シェルターを設置した植栽木を観察していると、設置後に確認しなければならぬ点や、メンテナンスが必要な点も見受けられます。実際に観察された事例では、

- ・ シェルターを植栽木に被せた時に、頂端部が曲がってしまい、下向きに成長。
- ・ つる性の植物がシェルター内で植栽木からみ、幹に異常が発生。
- ・ シェルター内で植栽木以外の植物が繁茂し、本来保護されるべき植栽木の成長を阻害。
- ・ 植栽木の健康状態が外からわからない。

等のことがありました。

確認が重要

柵に比べてメンテナンスが不要であるようなイメージを持たれがちなツリーシェルターですが、放置していても障害が発生していても気が付かせません。

近年、植栽コストの低減のため植栽本数を少なくする傾向があります。獣害に遭わないために設置したシェル

ターが原因で健全な植栽木を減らしてしまわないように、定期的に現地の状況を確認しに行きましょう。被害の発生や重症化を防げます。下刈りなどの際にシェルターの中を確認してみてください。



シェルター内での幹曲がり



侵入したサルトリイバラ



シダに塞がれたシェルター

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-333-2585

森林研究所まで



西濃地域における普及活動



■西濃農林事務所 林業普及指導員 立澤 良子

2市6町からなる西濃農林事務所管内の人口は、岐阜地区に次いで多く、約29万5千人、14・9%を占めています。一方森林は、総面積2万3千ha弱、県内森林に占める割合は2・6%であり、最も森林面積が少ない地域です。南東部を中心に農地が広がり、工場や商業施設も多く見られます。市町ごとの森林率(全面積に占める森林の割合)は、県平均に近い関ヶ原町から、まったく森林のない神戸町・輪之内町・安八町まで大きな差があります。

今回は、昨年4月1日に施行された、森林経営管理制度(森林経営管理法)における管内の海津市の取組を支援しましたので、その内容をご紹介します。

森林経営管理制度に関する取組

森林経営管理法では、森林所有者が所有する森林の経営管理、及び市町村の地域の森林について経営管理が円滑に実施されるよう必要な措置を講ずる責務が明記されました。

この森林経営管理制度では、適切に経営管理が行われていない森林については、市町村が森林所有

者と意欲と能力のある林業経営者を繋ぐなど、森林の経営管理を確保するとともに、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図るシステムの構築を目的としています。

森林経営管理制度を運用するために必要となるのは、森林所有者の経営管理に関する意向調査ですが、海津市では、まず、モデル地区の設定に取り組みました。意向調査にあたり必要な手順は次のとおりです。

なお、海津市における私有林の人工林面積は、741haとなっています。

- 1、適切に経営管理がされていない森林の把握
- 2、地域の実情を踏まえた意向調査対象地域の設定
- 3、森林所有者等確認作業

「1、適切に経営管理がされていない森林の把握」については

- ・森林経営計画作成済森林ではない
- ・過去10年以内に森林整備を実施していない森林(県からデータ提供)

以上2条件を満たさず地域(林班)を対象地域として選定しました。

「2、地域の実情を踏まえた意向調査対象地域の設定」については、「1」で選定した10地域のうち、次の基準による優先順位付けにより、さらに3地域まで絞り込みを行いました。

- ・地元から要望のある地域であること
- ・森林配置計画の将来目標区分が、木材生産林であること
- ・林道等の路網に隣接していること
- ・人工林の面積割合が多いこと

また、前述の絞り込みを行った後、施業履歴がなく、かつ森林簿上で人工林となっている箇所でも既に針広混交林化等の進行などにより、間伐等の森林整備の必要性が高くない箇所でないか、岐阜県地域森林監理士であり、地元の西濃森林組合の高木業務課長とともに、3地域の現地調査・確認も

行いました。
これらの調査等により、選定した1林班(26・78ha)を意向調査の対象地域とすることにしました。



▲現地調査・確認実施状況

「3、森林所有者等確認作業」については、海津市においては森林部では地籍調査が実施されている箇所はほぼないことから、森林計画図と公図転写図を重ね合わせて比較し、森林簿で人工林となっている林小班に該当する地番の所有者を登記簿で確認することとしました。



▲現地調査・確認結果を元に打合せ状況
(海津市・林業普及指導員)

しかし、登記簿の情報は、当初から予想されていたことですが、森林所有者の相続手続きが行われていないものもあり、海津市職員が実施する所有者の探索は、多くの時間と労力を要した大変な作業となりました。

所有者の探索は、丁寧かつ慎重に行わなければならない事務作業であり、肅々と作業を進められれば良いのですが、相続が数次にわたる場合など、多大な事務量の発生が見込まれるケースも想定されることから、行政書士等専門家への業務委託の検討も必要であることが再認識されました。

このように選定された地域(林班)は、海津市の市町村森林管理

委員会(海津市森林づくり委員会)に諮られ、意向調査の実施に対して了解が得られました。



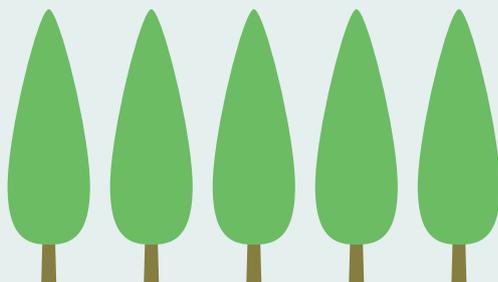
▲海津市森林づくり委員会の様子

今後、海津市では、意向調査内容を精査し、調査を行っていく予定です。

また、管内では、大垣市が事務局となり、森林を有する5市町で構成する「西南濃森林経営管理推進協議会」が平成31年3月に設立されています。

管内の事業者で、意欲と能力のある林業経営者の認定者は、西南濃森林組合のみであり、同協議会構成市町は、同組合の構成市町でもあります。こうしたことから、同協議会では、適切に経営管理が

行われていない森林の整備が、森林組合により円滑かつ着実に実施されるよう、調整・実施機関としての機能の最大限の発揮を目指して、取り組まれているところです。
今後、海津市の取組みを支援するとともに、同市や県内外の事例を参考に、同協議会、及び各市町のさらなる森林経営管理制度への取組みが促進されるよう、引き続き支援していきます。



●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0584-173-1111

西濃農林事務所まで

国有林における多様な森林への誘導について

平成28年に策定された森林・林業基本計画において、多様で健全な森林づくりに向け、国有林が先導して育成複層林化等の取り組みを進めることとされました。

このため、中部森林管理局においては、立地条件等を勘案し、将来的に天然力の活用が有効と判断される森林において、高木性有用樹の保残や天然生稚幼樹の育成を図ることにより、針広混交の育成複層林への誘導を図っていくこととしています。

●具体的な取り組み

具体的には、国有林野事業の各工程において、以下のような配慮を行うことにより、天然力の活用を図っていくこととしています。

(1) 収穫調査
収穫(木材生産)を予定する箇所の有用広葉樹の取扱いを検討し、その後の事業執行に反映させる。

(2) 主・間伐

① 立木販売において、高木性有用樹の小径木や稚幼樹の保残を約定するとともに、実施を指導徹底する。

② 製品生産事業において、仕様書、特記仕様書の順守徹底や選木基準等を説明、指導監督する。

③ 間伐期間は原則10年であるが、人工林内の稚幼樹が成長する照度確保のため、試験的に5年以上で実施可能とする。

(3) 更新

地拵は、残し筋部分への有用広葉樹の生育を図るため、筋刈とす。また、残存木の樹冠の占有区域は植栽面積から除外する試行を行う。

(4) 保育

下刈、除伐において、残し幅の中の有用広葉樹の伐採(いわゆる「筋つぶし」)を行わない、有用広葉樹と造林木が競合する場合は、で

きるだけ有用広葉樹を保残する。

●試験地の設定

各森林管理署等において「人工林から多様な森林への誘導」を目的としたモデル林を選定し、試験研究機関と連携をした現地検討等を実施しています。

岐阜森林管理署管内では、中部森林管理局森林技術・支援センターとの協働により、「人工林において天然力を十分に活用し、多様な森林へ誘導するとともに、造林の低コスト化技術を確立する」ことを試験目的に、下呂市大洞国有林188い林小班に試験地を設定して経過観察を行っています。



▲有識者を交えた現地検討



▲プロット設定による経過観察

当該試験地は、昭和7年にヒノキ2,600本/haを植栽していますが、ミズナラ、ミズメ、ホオノキ等の有用広葉樹が侵入しています。光環境を改善することで広葉樹のさらなる侵入を促し、針広混交林へ誘導するため、平成29年度に列状間伐1伐2残を実施しました。今後、県森林研究所、森林文化アカデミー等有識者の意見を伺いながら、多様な森林への誘導を進めていきたいと考えています。

(岐阜森林管理署)



野鳥のヒナを拾わないで！

春から初夏にかけては野鳥の子育てシーズンです。野鳥のヒナの多くは、羽が生えそろうとすぐに巣立ちの練習を始めます。ヒナは、うまく飛ぶことができるようになるまでは地面にいて、エサを取りに行った親を待ったり、羽ばたきの練習をしたりしながら、自然の中で生きていくための様々なことを学びます。親鳥は、姿が見当たらなくても、近くにいてヒナを見守っています。この時期のヒナを保護することは、親鳥にとっては「誘拐」になってしまいます。羽が生えそろうているヒナを見つけたときは、子育てを邪魔しないように静かにその場を立ち去りましょう。

また、自然に生きる野生鳥獣を勝手に飼うことは法律で禁止されています。

羽が生えそっていないヒナを見つけたら？

近くに巣がある場合は、使い捨て手袋を使うか、ハンカチやティッシュペーパーなどでそっと包み、巣に戻してあげてください。発見場所が歩道の真ん中などヒナにとって危険な場所の場合は、近くの木の枝の上のにせる、草むらの中に置くなどして移動させてください。鳥をさわった後は、石鹸を使って手洗いをしてください。

【環境企画課 宮川 紀子】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8231 生物多様性係まで



森林・林業関係イベントカレンダー（4～5月）

林業者向け

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
4月15日(水)～ 4月17日(金)	伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育	●講習時間 15日 学科 8:30～17:40 16日 実技 8:30～17:30 17日 補講イ 8:30～11:30 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：23,650円(本代含む)(振込み) ●定 員：60名(定員になり次第締め切ります。)	15日(学科)・17日(補講イ) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 16日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
4月21日(火)～ 4月24日(金)	フォークリフト 運転技能講習 【受講資格】 自動車普通運転 免許所持者	●講習時間 1日目 学科 8:30～16:30 学科試験 16:30～17:30 2～4日目 実技 8:00～17:30 ●申 込：開催日の20日前まで ●受講料：32,450円(本代含む)(振込み) ●定 員：20名(定員になり次第締め切ります。)	学科 伊自良中央公民館(山県市大門912-1) 実技 ぎふ農協旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
4月30日(木)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	●講習時間 学科 9:20～15:00 実技 15:00～16:30 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員：60名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
5月12日(火)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	●講習時間 学科 9:20～15:00 実技 15:00～16:30 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員：60名(定員になり次第締め切ります。)	県森連飛騨林産物共販所(高山市新宮町112-7) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
5月15日(金)	チェーンソーを用いて 行う伐木等の業務従事者 (3～5年従事者) 安全衛生教育	●講習時間 学科・実技 9:00～16:00 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：11,700円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
5月20日(水)～ 5月22日(金)	伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育	●講習時間 20日 学科 8:30～17:40 21日 実技 8:30～17:30 22日 補講イ 8:30～11:30 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：23,650円(本代含む)(振込み) ●定 員：60名(定員になり次第締め切ります。)	県森連飛騨林産物共販所(高山市新宮町112-7) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



昨今、SDGsが話題に上ることが多く、SDGsのカラーホイールやロゴマークなどを標に付けたり、パンフレットなどで目にする機会が多くなってきました。SDGsについては、今さらの説明はいりませんが、私たち岐阜県緑化推進委員会では、ただいま、「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに緑の募金活動を展開しています。皆様からご寄附いただいた募金を、森林づくり、緑化の推進、みどりの少年団の育成などに使い、緑の力を未来に伝え、SDGsの目標達成に少しでも貢献していきたいと思っていますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

「森林のたより」編集委員 黒崎 隆司

イベント情報

連載

- 山の歳時記(177)
- 山のおじゃまむし(346)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(88)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(86)

清流の国ぎふ森林・環境税

わがまちの森林・環境行政(41)

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

5月1日発行

5月号
予定

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1722回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,400	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格
			16~18cm	11,500	—	
		4 m	20~22cm	13,000	—	
			24~28cm	12,500	18,000	
			30cm以上	12,000	18,000	
	3月10日 ひのき	3 m	16~18cm	16,500	—	
			20cm以上	14,500	—	
		4 m	16~22cm	17,300	—	
			24~28cm	14,300	—	
			30cm以上	14,500	—	
第1298回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	12,300	—	
			24~28cm	12,700	—	
		30cm以上	10,600	98,300		
	3月11日 ひのき	3 m	16~18cm	17,800	—	
			20~22cm	17,300	—	
		4 m	24~28cm	15,000	—	
	30cm以上		14,000	100,000		
	まつ	4 m	24~28cm	9,000	—	
			30cm以上	9,000	—	
		ひめこ	4 m	24~28cm	13,000	—
30cm以上			14,000	15,500		
3月11日 くり	5 m	30cm以上	21,000	24,000		
	4 m	24cm以上	16,000	32,500		
第1628回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	12,500	—	
			24~28cm	12,800	13,000	
	3月12日 ひのき	3 m	30cm以上元	13,200	—	
			16~22cm	17,600	24,000	
			24~28cm	15,000	28,000	
		4 m	30cm以上元	18,500	43,000	
			13cm以下	9,000	—	
			24~28cm	15,500	28,000	
	まつ	4 m	30cm以上元	18,500	60,000	
			6 m	18~22cm	24,000	—
3月12日 まつ	4 m	22~28cm梁	7,000	—		
		30cm以上元	9,000	—		

木材市場

【商況】

スギ4m元木良材、中目30cm上は高値推移。40cm上節物は低調。スギ3m並材は16~28cmの需要が旺盛。スギ4m並材24cm上は潤沢な在庫を背景に弱保合。ヒノキ4m元木良材、中目選木に応札旺盛。ヒノキ4m合板向け20cm上は需要が旺盛。スギ4m合板向けは弱保合。製紙向けパルプ材は大手工場納材に一部制限あり。発電向け未利用材は継続して荷動きが活発。原木在庫は不足傾向。(岐阜)

ヒノキ、スギとも並材が多く横ばいの展開で推移。スギ40cm上枝木、大節等、欠点材は相変わらず売りづらく応札無し。合板用カラマツは不足感が強まり、スギは工場の年度末調整が懸念。ヒメコ、マツは早急の出材がよい。広葉樹良材の間合せ多数。(飛騨)

全般的に並材(16cm~22cm)横ばいで推移。ヒノキ元木、良材2m・3m・4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))には継続して旺盛。ヒノキ並材は3m・4m(16~22cm)は、システム販売の安定供給に伴い横ばい。スギは全般的に品薄、4m元木良材は継続して旺盛、並材は3m・4m(16~28cm)長良川木協、森の合板への供給(システム販売)に伴い横ばい。スギ、ヒノキ6m材需要減。(東濃)

製品卸売標準価格 (2月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000	(2,150)	→
	間柱	3000	105	30	1等	65,000	(614)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	(2,867)	→
	柱	3000	120	120	特等	60,000	(2,592)	→
		3000	120	120	(東濃松)特等	65,000	(2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集 成 材	柱	3000	105	105	国産5層	60,000	(1,980)	→
		3000	120	120	国産5層	61,000	(2,600)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (2月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	306	米 柾	へム(アラスカ産)	292
	コースト(目荒)	324	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

プレカット

木材用語一口メモ

木造住宅の柱や梁等の継ぎ手、仕口等の加工を工場で機械により行うこと。プレカット機械は、CAD/CAM化された全自動機で、CADで設計したデータと連動した加工機に送られ、自動的に切削する。

CAD/CAMはComputer Aided Drawing(コンピュータ支援設計)、Computer Aided Manufacturing(コンピュータ支援製造)の略。

(参考)木材・建材用語辞典

